

JA東京中央広報誌

# まごころ

No.41

[2021年 新春]



2021年(令和3年)  
良い年でありますように



杉並区グリーンクラブ



砧地区青壮年部



JA東京中央

千歳生産部

東京中央まごころNo.41(2021年新春号)2021年1月発行 発行東京中央農業協同組合 編集組織広報室 〒157-0063 世田谷区粕谷3-1-1 TEL03-5314-3535  
©広報誌まごころで取得した個人情報には広報活動以外の目的では使用いたしません。 ©本誌内容の無断転載を禁じます。 編集協力東京リスマチック(株)

シェフ永井のおすすめ

## レンコン餅、栗ときのこのあん掛け

茨城県笠間市にある  
「天晴(旧キッチン晴人)」オーナーシェフ  
永井 智一(ながいともかず)

### 材料(2人分)

- レンコン……………300g
- 片栗粉……………大さじ2
- 栗(蒸した物)……………6個
- シイタケ……………2個
- マッシュルーム……………2個
- ミツバ……………適宜
- おろしショウガ……………小さじ1
- サラダ油……………適宜

### 〈あん掛け〉

- かつおだし……………3/4カップ
- みりん……………大さじ1と1/2
- 薄口しょうゆ……………大さじ1と1/2
- 水溶き片栗粉……………大さじ1



### 作り方

- レンコンを粗めにすりおろし、片栗粉と混ぜ合わせ耳たぶほどの硬さにし一口大に丸め、180度のサラダ油できつね色になるまで揚げる。

- 鍋にあん掛けの材料と食べやすい大きさにカットしたシイタケ、マッシュルームを入れ火にかけ、火が通ったら水溶き片栗粉を回し入れあんを作る。
- 器に①と栗を盛り付け、②を上から回し掛け、おろしショウガのをせ、ミツバを散らして出来上がり。

### 今号の表紙

2021年(令和3年)は丑(うし)年。

表紙のいろいろな牛は千歳地区女性部の作品展からの力作です。

牛は昔から食料や、農作業や物を運ぶときの労働力など生活に欠かせない動物として親しまれてきました。大変な農作業を地道に支えて良く働く姿から、丑年は、「我慢(耐える)や発展の前振れ(芽が出る)」を表す年になると言われています。福島県会津地方の郷土玩具「赤べこ」は、その昔、近くに置くと流行り病に感染しなかったという伝説があり、コロナ禍の中、疫病除けとして人気となっています。



表紙の宝船は千歳生産部と砧地区青壮年部が明治神宮の新嘗祭に奉納したものと杉並区農業祭で杉並区グリーンクラブが作成したものです。

宝船は室町時代、良い初夢を見たいと言う庶民感情の中から起こったものとされています。野菜の宝船は江戸時代に始まったという説があり、農産物を扱う御用商人達がお正月の初荷に野菜で宝船を作り、お得意先に納めていた記録があるそうです。

# 山野支店は 砧支店及び鎌田支店と統合します

山野支店は令和3年3月12日(金)をもちまして営業を終了し、  
砧支店及び鎌田支店と統合いたします。

山野支店で現在契約のお取引は3月13日(土)に砧支店及び鎌田支店へ移管いたしますので  
ご了承くださいようお願い申し上げます。  
永年ご利用いただきました皆さまにはご不便をおかけいたしますが、今後とも引き続きお引き立て  
賜りますようお願い申し上げます。

## 営業終了日

令和3年3月12日(金) 正午まで

ATMコーナーも3月12日(金)正午をもちまして稼働を終了いたします

## 統合先

3月15日(月)から

砧支店(店舗番号:013)

〒世田谷区喜多見5-4-3  
TEL : 03-3416-0101  
FAX : 03-3416-0150

鎌田支店(店舗番号:015)

〒世田谷区鎌田3-18-5  
TEL : 03-3709-1573  
FAX : 03-3708-0927

## 山野支店ご利用の皆様へ

統合に関する各種手続きについては、  
12月18日に送付いたしました「店舗統合に  
伴うお取引についてのご案内」をご確認ください。  
また、ご不明な点につきましては、山野支店へ  
お問い合わせください。

山野支店

〒157-0073 東京都世田谷砧4-4-7  
TEL : 03-3417-2371  
FAX : 03-3416-5016

# 謹賀新年

コロナに負けず協同の力で進んでまいります



代表理事組合長  
穴戸 幸男

新年あけましておめでとございます。  
組合員ならびに地域の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春  
をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中はJAの事業に格別のご高配をいただき、誠にありがとうございました。  
昨年は思ってもみなかった新型コロナウイルス感染症の拡大により、当JAも政府の緊急  
事態宣言を受け、業務の一部を縮小・休業し、皆さまには大変ご不便をおかけすることもござい  
ました。そのような中、城田恒良前組合長のJA東京中央会会長就任に伴い6月30日から組合長  
を仰せつかり、皆さまのご理解、ご協力のもと安定した事業活動を進めていくことができました  
ことに心から感謝申し上げます。

令和元年度から始まった第8次中期経営計画「農」と「相談」を協同の力で、最終年度を迎  
えます。都市農業を守る農協、地域住民の「食」を守る農協、組合員のくらしを守る農協を目標に  
取り組み、項目の達成を目指して事業を実践してまいります。

令和3年も厳しい状況が予想されますがこのような時こそ協同の力をもって難局に対処し、  
地域にとって必要なJAとして役員一同結束して組合員や地域の皆さまのご期待にそえるよ  
う取り組んでまいりますので一層のご理解、ご支援をお願い申し上げます。  
年頭にあたり、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と皆さまのご繁栄とご健勝を心  
よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。  
令和三年 元旦

代表理事副組合長

井口 茂利

常務理事

福田 武雄

常務理事

上原 敬弘

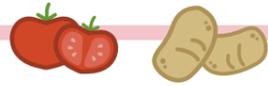
常務理事

芹澤 清隆

常勤監事

島田 浩幸

役員一同



「新鮮でおいしいのでよく来る」という近所の主婦



自宅直売所



### 閑静な住宅地の中、苦勞して手がけた畑からおいしい野菜を地域に



栗原 正太郎さん(50)  
(城西地区)

栗原正太郎さんは大学卒業後、大手企業に勤めていましたが父親が体調を崩したため31歳で会社を辞めて就農しました。

栗原さんの畑は閑静な住宅地で知られる杉並区松庵にあります。最寄り駅は中央線の西荻窪駅。1本道をはさんだ先は武蔵野市吉祥寺という杉並区の一帯西側になります。

現在は約2,000平方メートルの畑でエダマメやジャガイモ、ブロッコリー、キャベツ、小松菜、ホウレンソウの他ハウスでトマトやキュウリを栽培しています。

就農した当初は主に植木畑でしたが野菜を作ってみたいとの思いから植木を1本1本抜く地道な作業で野菜畑にしていっていったそうです。簡単にできると思っていた野菜作りも実際にやってみて初めてその難しさを知り、独学や叔父さんに教わりながら農業をあらためて学びました。学生時代はラグビー部で活躍し、体を鍛えていた栗原さんですが農作業の大変さはまた別物で同じ姿勢の作業など慣れない体の使い方はきつかったそうです。

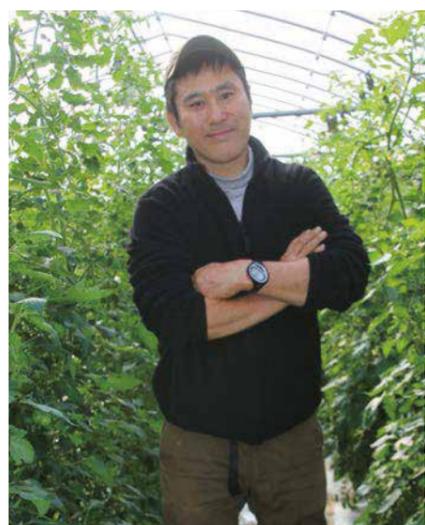
苦勞を重ねてやっと収穫と思ったところがカラスなどの鳥の被害に遭い、とてもショックを受けました。その経験もありハウス栽培を始めるきっかけになりました。ハウスでトマトは春は大玉の桃太郎、秋は中玉のフルティカを栽培してもおいしいと好評です。

都市農業の特徴のひとつに少量多品目栽培がありますが、栗原さんのこだわりは品目を限定して効率的に栽培すること。品目をしぼることとその作物の栽培技術も高まるとともに畑を効率的に使うことができます。

丹精込めた農産物はファーマーズマーケット荻窪や学校給食などに出荷する他、自宅の直売所で販売しています。出荷作業は家族の協力でチームワーク良く行っています。母親のカズエさん、奥さんの慶子さん、妹の岡知恵子さんの3人が手伝い手際よく作業します。

収穫は正太郎さんの担当。作業を終えて自宅に戻ると3人の女性が待ち構えています。収穫物を積んだ軽トラックが着くと、手際よくトラックから降ろして作業開始。各人が手分けして仕分けや袋詰めなど息がピッタリで無駄なく作業が進みます。

「今を一生懸命頑張っておいしい野菜を作り続けたい。自分の育てた野菜を地元の人に食べてもらい、おいしいと言ってもらうことが喜び」と話す、栗原さん。今後はイチゴの栽培にもチャレンジしたいと意欲をみせています。家族の協力のもと杉並の農業を担うひとりとして今後も期待されます。



学生時代はラグビー部で活躍

# 令和二年度 杉並区農業祭

11月7日、8日 桃井原つば公園

杉並区農業祭は「すぎなみフェスタ2020」会場内で同時開催し、フェスタには2日間で約9万1千人が来場しました。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、来場者が安心して参加できるように来場者や出店者も手指消毒や検温、マスク着用を徹底して開催しました。宝船の宝分けや品評会の区民賞の投票などは中止となりました。

会場は区内産の農産物で作った野菜の宝船の展示や農産物の直売、野菜レシビの紹介と野菜クイズや鉢花の寄せ植え体験などのイベントで区民に都市農業をアピールしました。  
城西地区女性部はクリアファイルで作るマスクケース作り、杉並中野地区女性部はくるくるカップ作りのワークショップで子どもたちと工作を楽しみました。



野菜の宝船の前で 主催者挨拶  
左から、本橋成一農業委員会会長、田中良杉並区長、  
宍戸幸男JA東京中央組合長、島田敏光杉並区議会副議長



杉並産 野菜や草花の即売会

## 杉並区農業祭記念農産物品評会 受賞者一覧

賞名	品名	氏名
東京都知事賞	バンジー	小野 成子
杉並区長賞	ブロッコリー	鈴木 宗孝
杉並区議会議長賞	サトイモ	木下 良子
杉並区農業祭実行委員会会長賞	ニンジン	小美濃 正義
杉並区農業委員会会長賞	ダイコン	細川 良成
	キウイフルーツ	尾崎 智史
東京都農業協同組合中央会会長賞	柿	飯田 幸弘
	キャベツ	鈴木 宗孝
東京都農業協議会会長賞	カリフラワー	細川 美幸
東京都農業改良普及事業協議会会長賞	葉ボタン	坂井 寛子
東京中央農業協同組合会長賞	紫キャベツ	田原 良規
東京都信用農業協同組合連合会会長賞	小松菜	小野 実
全国共済農業協同組合連合会東京都本部会長賞	ミカン	井口 清
全国農業協同組合連合会東京都本部会長賞	レモン	井口 勲
城南西地区農業改良普及事業協議会会長賞	ピーマン	原田 映史

出品点数 313点



都知事賞  
バンジー／小野成子さん



杉並区長賞  
ブロッコリー／鈴木宗孝さん



品評会会場

### 坂井清人さん(杉並中野地区)が講師 鉢花の寄せ植え体験



### 城西地区女性部 クリアファイルで作るマスクケース作り



### 杉並中野地区女性部 くるくるカップ作り



## 千歳地区 秋季農産物品評会

11月11日、12日 千歳支店

新型コロナウイルス感染症予防のため、一般観覧や宝船展示、宝分け即売会は中止して野菜と花苗の袋詰めを500円で販売しました。



品評会会場



野菜や花の袋詰めを販売

## 千歳地区秋季農産物品評会 特別賞入賞者一覧

特別賞名	品名	氏名
世田谷区長賞	ブロッコリー	池亀 亮
	ユリ	下山 秀則
世田谷区議会議長賞	青首ダイコン	北島 幸夫
東京中央農業協同組合組合長賞	キャベツ	杉田 雅重
	柿	佐藤 康賢
世田谷区農業委員会会長賞	ハクサイ	大谷 一彦
世田谷区内農協協議会会長賞	バンジー	川本 滋
	ピーマン	宍戸 寛一
城南西地区農業改良普及事業協議会会長賞	ブロッコリー	福田 充利
	ミカン	福田 充利
東京都農業協同組合中央会会長賞	カブ	小山 重夫
東京都信用農業協同組合連合会会長賞	キンギョソウ	宍戸 寛一
全国農業協同組合連合会東京都本部会長賞	キャベツ	佐藤 友雄
全国共済農業協同組合連合会東京都本部会長賞	ハクサイ	田中 拓人
奨励賞	ミニトマト	佐藤 賢治

出品点数 495点



ブロッコリー／池亀亮さん  
ユリ／下山秀則さん



品評会終了後、展示品は箱詰めしてせたがや子育てネットへ

## 砧地区秋季農産物品評会 特別賞入賞者一覧

特別賞名	品名	氏名
世田谷区長賞	キュウリ	石井 良彦
	青首ダイコン	長島 常三
世田谷区議会議長賞	キャベツ	芹田 直幸
東京中央農業協同組合組合長賞	カリフラワー	城田 恭宏
	ハクサイ	榎本 進一
世田谷区農業委員会会長賞	小松菜	大隅 芳廣
世田谷区内農協協議会会長賞	ブロッコリー	海老沢 茂
	青首ダイコン	城田 恭宏
城南西地区農業改良普及事業協議会会長賞	キャベツ	香取 菜子
	カブ	荻野 元光
東京都農業協同組合中央会会長賞	ネギ	中村 義明
東京都信用農業協同組合連合会会長賞	ピオラ	芹田 順子
全国農業協同組合連合会東京都本部会長賞	ピーマン	石井 良彦
全国共済農業協同組合連合会東京都本部会長賞	キウイフルーツ	荻野 緑
	トウモロコシ	香取 康修
奨励賞	ロメインレタス	長島 丈

出品点数 387点



品評会会場



青首ダイコン／長島常三さん



キュウリ／石井良彦さん

## 砧地区秋季農産物品評会

11月13日 砧支店

新型コロナウイルス感染症予防のため、一般観覧や展示品の即売、砧地区女性部のバザーは中止しました。品評会展示品はせたがや子育てネットを通じて母子家庭などに寄贈しました。

# 大森地区野菜と花の品評会

11月26日 馬込支店

大田区野菜と花の品評会がコロナの影響で中止となったため、JA東京中央と大森技術振興クラブの主催で大森地区の品評会を開きました。



品評会会場



表彰式



シクラメン/君島惣一さん



ニンジン/城下義章さん

## 大森地区野菜と花の品評会特別賞 受賞者一覧

賞名	品名	氏名
東京都農業協同組合中央会会長賞	シクラメン	君島 惣一
東京中央農業協同組合組合長賞	ニンジン	城下 義章
東京中央農業協同組合常務賞	小松菜	波田野 康治
城南西地区農業改良普及事業協議会会長賞	ネギ	波田野 康治
大森技術振興クラブ部長賞	ダイコン	城下 美恵子

出品点数 182点



# 生産組織協議会即売会

11月19日 矢口支店

大田生産部会に砥生産部会、杉並中野生産部会が協力して東京中央管内の農産物を即売しました。



11月25日 ハウジング馬込店前

大森技術振興クラブに千歳生産部会、城西生産部会が協力して東京中央管内の農産物を即売しました。



# 杉並中野地区 野菜と花の即売会

10月30日 杉並中野支店

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年は2日間開催を今年は1日のみにして、入場人数の制限や列の間隔を十分開ける、手指の消毒をこまめに行うなどの対策をして開催しました。女性部員が作ったお揃いの緑色のマスクをつけて販売しました。



# 第54回 城西地区 農産物即売会

11月15日 城西支店

通常の2日間開催を今年は1日のみにして、入場人数の制限や販売者と購入者の間にビニールシートを張るなど感染予防対策をして開催しました。女性部バザーなどは中止、野菜や花の販売のみ行いました。



# 第49回 東京都農業祭

11月2日、3日 東京都農林水産振興財団

明治神宮宝物殿前広場のイベントはすべて中止として共進会のみ立川の東京都農林水産振興財団で開催しました。

**賞** 特別賞入賞者 (JA東京中央)

JA東京中央会会長賞	ユリ/下山 秀則(千歳地区)
JA全農東京都本部長賞	ストック/川本 滋(千歳地区)
JA全農東京都本部長賞	梅干し/島田 尚美(千歳地区)
東京都農業会議会長賞	シクラメン/波田野 清明(大森地区)

※今年度の世田谷の花展覧会、世田谷区農業祭、大田区野菜と花の品評会&JA東京中央収穫祭は中止となりました。

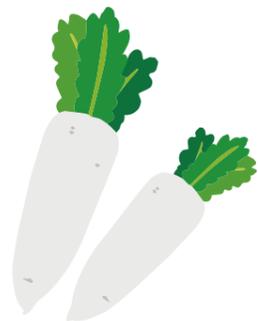
## みどりのトラスト基金 大蔵大根収穫体験

### 体験型記念品

世田谷区×ふるさと納税×JA東京中央

世田谷区は、みどりを守り増やす取組みのために、みどりのトラスト基金への寄附を募り、JA東京中央はこの活動に賛同し、都市農地を保全していく大切さを知ってもらうため世田谷区に協力し、ふるさと納税返礼品に大蔵大根収穫体験を提供しました。

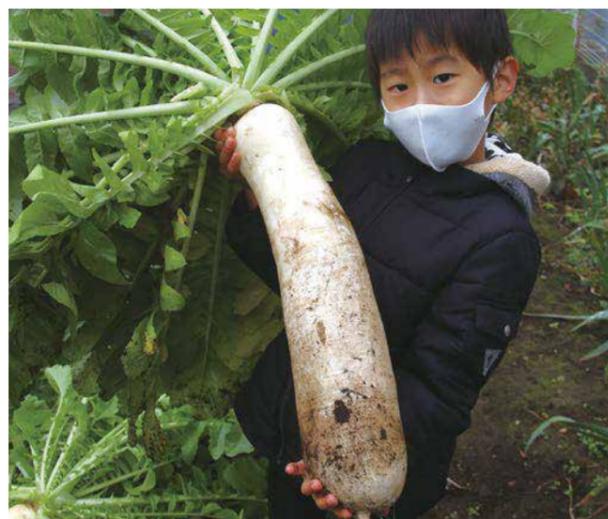
ふるさと納税には18組の寄附をいただき、体験型記念品として12月6日と13日に世田谷の農業の歴史や世田谷特産の大蔵大根について学んでもらうとともに大蔵大根の収穫を体験してもらいました。  
大蔵大根の生育には砧地区の永井潔さんと宏幸さん、砧地区青壮年部にご協力いただきました。



砧地区青壮年部の皆さんとJA営農支援課加藤係長が世田谷の農業などを説明



大蔵大根の引き抜きを体験



## 常勤役員が各地区の 圃場を巡回

### 生産組織協議会

コロナの影響で生産組織協議会役員と常勤役員との座談会は中止となりました。そこで各地区から意見や要望をいただきました。そこで、常勤役員に各農家の畑で現状や悩みを聞いてもらいたいとの要望があり10月12日と26日の2日間、各地区11カ所を回り各農家と意見交換しました。

各農家からは都市農業ならではの近隣住民からの苦情や後継者問題などの意見や要望がありました。役員は「現場を見て組合員の生の声を聞くことができました。JAとしてそれぞれの意見や要望に応えられるよう対応し、都市農業の発展につながるよう応援していきたい」と話しました。

10月12日



大森地区 波田野博さん



千歳地区 川本滋さん



大田地区 平川幸志郎さん

10月26日



城西地区 木下克博さん



砧地区 長島丈さん



城西地区 原田映史さん



杉並中野地区 森田信幸さん



にぎわう店内



大蔵大根レシピの紹介



食の個別相談

JA東京中央ホームページで  
オススメレシピ公開してます!

<https://www.ja-tokyochuo.or.jp/recipe/>



大蔵大根ポタージュ

## ファーマーズマーケットニ子玉川 秋の収穫祭

### 大蔵大根1本レシピ紹介

ファーマーズマーケットニ子玉川は店内のリニューアルに合わせて11月28日と12月1日の2日間、秋の収穫祭を開きました。  
世田谷の特産、旬の大蔵大根の出荷にあわせて、大蔵大根まるごと1本レシピを紹介した他、フードコーディネーターや管理栄養士などの食のプロ集団「HIITOMOO」

(ヒトオモイ)による食の個別相談を行いました。  
また、ファーマーズマーケットに関するアンケートに答えてくれた方にはサツマイモをプレゼント。新鮮な農産物を求めて多くの来店客でにぎわい、28日は過去最高の来店客数となりました。

大蔵大根ポタージュ

豚バラ大蔵大根

動画レシピ配信中



千歳生産部



砧地区青壮年部



回廊に並ぶ各JAの宝船



## 明治神宮 新嘗祭に宝船奉納

### 千歳生産部 砧地区青壮年部

明治神宮で11月23日に行われた新嘗祭(いになめさい)に千歳生産部と砧地区青壮年部が野菜の宝船を奉納しました。  
新嘗祭はその年に収穫された新穀などをお供えてその恵みに感謝する祭りで明治神宮では毎年、都内のJA関係団体が作った

十数基の宝船が並びます。  
これほどの宝船が並ぶ光景は壮観で他にありません。今年は千歳生産部が楼門の横、砧地区青壮年部は回廊に設置。参拝客は見事なできばえに皆、驚きの声をあげていました。

作成風景



## 子どもら1000人が 稲刈り体験

世田谷区立次大夫堀公園教育田

世田谷区は10月7日、区立次大夫堀公園教育田で稲刈り体験を開きました。近隣の小学校や幼稚園などの児童ら約1000人が参加しました。

区内唯一の水田で都会の子どもたちに自然や農業、食への理解を深めてもらうことが目的で今年が35回目です。

コロナの影響で5月の田植えは砧地区青壮年部やJ.A.との関係者のみで行いました。稲刈りは子どもたちが参加できるか危ぶまれましたが、参加する団体の時間をずらしたり、密集を避けるなどして無事体験することができました。

教育田は砧地区青壮年部が区から委託を受け、苗の育成から田植えの準備、除草、水の管理など年間を通して管理しています。

刈り取った稲は掛け干しして、脱穀・精米して参加した小学校や幼稚園に配り給食などで使われました。



無事稲刈りができました

## 稲刈り、昔の農機具で 脱穀を体験

世田谷区立塚戸小学校

世田谷区立塚戸小学校は10月16日、地域の代表者で組織された学校運営委員会や上祖師谷郷土研究会などの協力で、屋上の水田で5年生の5クラス約150人が稲刈りをしました。

例年は5月に児童が田植えをしますが、今年がコロナの影響で参加できず、同委員会や同研究会が行い、その後の定期的な管理を続けて収穫の時を迎えました。

10月30日には同研究会の高橋公正会長が所有する昔の農機具の足踏み脱穀機と唐箕を使い、校庭で脱穀と籾摺り体験をしました。

各クラスの代表数人が刈り取ったイネの束を持って脱穀を体験し、最後に電動の籾摺りの機械を使い籾殻を取り除き玄米にしました。足踏み脱穀機で稲束から籾が勢いよく取れる様子や唐箕で籾が分別される様子を見て「器具を考えた昔の人はすごい」と驚いていました。

籾摺りした玄米は精米し、後日各クラスに配布しました。



足踏み脱穀機で脱穀

## 地元産農産物即売会 盛況

千歳地区上祖師谷支部

千歳地区上祖師谷支部は11月29日、上祖師谷神明社で地元農産物の即売会を開きました。例年は上祖師谷農業祭としてチャリティー餅つき、わら細工体験など行いますが今回はコロナの影響で即売会のみ開催しました。

ダイコンやハクサイ、ネギなどの野菜や柿などの果実、花苗や切り花など約1700点が出荷され、約1時間で完売する人気でした。1回の入場を15人に限り、体温測定や手指の消毒など感染防止に努めながら対面式の販売をやめてスムーズに買い物ができるよう工夫して滞りなく即売できました。

農業祭は30数年前に農地の宅地並み課税などの問題で都市農業に逆風が吹いていた時期に、生産者が農業に取り組んでいる姿を地域住民に理解してもらい新鮮で安全・安心な農産物を生産し続ける都市農業をPRするため始まりました。

今年は開催が危ぶまれましたがコロナに負けず、都市農業のアピールを続けていこうとの思いから即売会のみ開くことになりました。



盛況な即売会

## 品評会出品物を コロナ禍の母子家庭 などに提供

砧地区秋季農産物品評会の出品物は例年、品評会終了後に地域の人へ都市農業のPRを兼ねて即売しますが、今年はコロナの影響で即売会を中止したため出品物をどうするか検討し、特定非営利活動法人せたがや子育てネットを通じてせたがや子どもフードパントリーに寄付しました。農産物はコロナの影響を受ける母子家庭など区内の約140家庭、290人の子どもたちに届けられました。

同法人では主に子育て支援事業の他、子育てや子どもの成長を地域全体で支え合うネットワークづくり事業を行っており、J.Aも野菜を提供するなど協力しています。せたがや子どもフードパントリーは同法人を含めた子どもや家族のために活動している団体が中心となっており、コロナの影響で生活が困窮している家庭の子どもたちに食料を無償で提供する活動をしています。



## LED防虫灯設置し 野菜収穫好調

大田地区 平川さん

大田地区の平川幸志郎さんの畑は10月を過ぎてもナスやピーマンなどの収穫が好調でした。長雨や猛暑にも関わらず栽培が順調だった理由のひとつとして赤色発光ダイオード(LED)の防虫灯の効果だと平川さんは推測しています。

平川さんは就農して36年、有機農業を始めて28年目。東京都工コ農産物認証制度の化成合成農薬と化学肥料を100%使用しない東京工コ1000認証を取得し、住宅地の中の畑で安全・安心な野菜作りに取り組んでいます。

害虫のアザミウマは緑色を目標に飛び習性があり、緑色の作物に赤い光を当てると目標が見えなくなり近寄りなくなります。赤色の防虫灯を設置したことで被害が減ったことが予想されますがこれから詳しく検証して効果を確認する予定です。

平川さんは「今後は東京都GAP(農業生産工程管理)認証取得に向けて取り組んでいる。地域の人に安全で安心な野菜を届けられるよう頑張っていきたい」と意気込んでいます。



平川さんと赤色LED防虫灯

## 馬込のシクラメン 自宅で花楽しんで

君島園芸・馬込シクラメン園

君島惣一さん、章介さん親子が管理する「君島園芸」と波田野草さん、清明さん親子が管理する「馬込シクラメン園」の2園は現在も馬込伝統のシクラメンを守り、毎年高品質のシクラメンを生産しています。シクラメンは高温多湿に弱いため、両園とも6月からシクラメンを茨城県筑西市に移し育成し10月に東京に戻し、11月から12月まで開園しています。コロナの影響から自宅で花を楽しむという人が多く、例年よりいち早く来園する人が多かったそうです。



君島園芸



馬込シクラメン園



## 中野区の小学校に 給食食材提供

杉並中野地区 松本吉雄さんと早船智彦さん

杉並中野地区の松本吉雄さんと早船智彦さんは11月から中野区立美鳩小学校と上鷲宮小学校に学校給食の食材提供を始めました。

きっかけは児童の社会科見学の授業で2人の畑に栄養士の先生が同行した際に栽培された野菜を見て「これだけ素晴らしい野菜を地元で作っているなら、ぜひ学校の給食で使いたい」と思い2人に相談したことから。

2人は熱心な要望に応じてこれまでダイコンやブロッコリー、カリフラワーを提供しています。学校側も搬入方法や納入金額など2人の要望にできるだけ合わせるよう協力しています。

2人は「中野区の農地面積は広くないが、農家は一生懸命頑張っている。学校給食に提供することで区内の農業をアピールしていきたい」と意欲的です。



松本さん(左)と早船さん(右)

## 「体験！ こまつなベランダ菜園」

杉並中野地区が協力

杉並保健所健康推進課は11月1日、杉並保健所で「野菜を育てておいしく食べよう！〜体験！こまつなベランダ菜園〜」を開き、区内の5歳から小学6年生までの親子40組が参加しました。杉並中野支店とファーマーズマーケット荻窪が協力しました。

コロナ禍の中ですが毎年好評で何とか開催したいと、参加人数を例年の半数にしてマスク着用や手指の消毒、密で歓談しないなどの感染予防対策を徹底しました。

杉並中野地区の坂井清人さんが講師となり、杉並中野地区女性部員が協力して小松菜のプランター栽培の方法を教えました。坂井さんが講師を務めるのは今年で3年目で、芽が出てきたら不織布を被せて虫から守る方法や間引きの仕方を実際にやってみようなど毎年工夫して教えています。

参加者は「うまく育てておいしい小松菜を食べたい」と話していました。



小松菜の栽培方法学ぶ

## 都市農地について 研修会開く

井荻倶楽部

井荻支店管内の後継者を対象にした会「井荻倶楽部」は10月24日、城西支店で研修会を開きました。会員ら23人が参加して都市農地に関わる生産緑地法や相続税納税猶予制度、都市農地貸借円滑化法などを学びました。

これまでコロナの影響で予定通り活動ができませんでしたが、席の間隔をとる、手指消毒を徹底するなどの対策をして開くことができました。

社団法人東京都農業会議の松澤龍人さんが杉並区の農地の現状や都市農地制度改正の動き、特定生産緑地制度などを説明しました。

同倶楽部は発起人の井口幹英さんを代表として平成29年5月に発足。これまでJAの成り立ちや組織、杉並の農業などの勉強会の他、ポウリング大会や懇親会を開いて部員、JA職員との交流を深めています。



生産緑地法など学ぶ

## 久しぶりの 活動楽しむ

城西地区女性部

城西地区女性部は10月15日、城西支店で城西地区ミニデイサービス「なでしこの会」を開き、部員ら27人が参加しました。

同会は70歳以上の女性部員とその家族が対象で例年は年に2回開いています。今年はコロナ禍で開催ができませんでしたが少しづつ活動を再開したいとの部員の思いで感染症対策を十分にしながら開くことになりました。

今回のプログラムは手指を動かしてもらおうためにクリアファイルで作るマスクケースづくりと健康体操講演会で健康寿命のためのフレイル予防を学びました。会の最後には感染症予防に留意しながら久しぶりに部員同士で食事を楽しみ参加者は「久しぶりの再会で直接会って一緒に学び、楽しんでよかったです」と喜んでいました。



みんなで健康体操

## 手芸品や絵画などの 力作がそろう

千歳地区女性部

千歳地区女性部は11月16日から18日までの3日間、東京中央グリーンホールで作品展を開きました。

手芸品や絵画、絵手紙、写真など37人の部員の力作が並び、来場者はその出来栄に感心していました。

この作品展の中から干支の牛にちなんだ作品を表紙に掲載しております。



力作ぞろいの作品展

## ヒマワリで地域明るく 園児が協力

馬込支店

馬込支店は店舗前のスペースで四季折々の花や野菜を育てて地域住民に癒しを与えています。

近所の保育園、グロバーキッズ西馬込の園児たちがいつも訪れて苗の定植や水やり、草取りなどの作業を手伝っています。都会の中で自然とのふれあいが少ない子どもたちに土いじりや農にたずさわることや緑や食の大切さを知ってほしいとの思いから長年にわたって協力してもらっています。

今年はコロナ禍の中で地域全体が明るくなってもらおうと秋咲のヒマワリを植えました。見ごろを迎えたヒマワリに園児たちも生き生きとした笑顔で水やりをしており、支店職員も園児の笑顔を見て励みとなっています。



ヒマワリに水やりをする園児



# 支店だより



## 千歳支店

### 手作り掲示板で 情報発信

千歳支店は、JAや地域の情報などを伝える掲示板をATMコーナーに設置しています。日本農業新聞の記事や職員手作りの金融商品のキャンペーン情報、収穫体験の募集案内などをPR。多くの来店者が足を止めて掲示板に注目しています。10月はハロウィン仕様にして季節感を出しました。

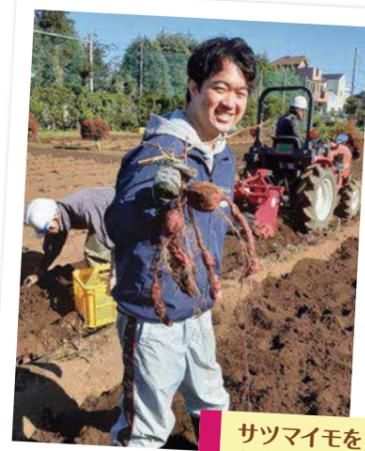


手作りの掲示板でJAをアピール

## 芦花支店

### 園児の収穫が中止で 職員が代わりに収穫

芦花支店の職員は11月4日、千歳地区の高橋隆さんと後藤宏さんの収穫体験農園でサツマイモを収穫しました。  
本来は、保育園の園児が収穫する予定でしたがコロナの影響で中止となり、代わりに支店職員が収穫。営農支援課の協力で軽量自動掘り取り機付きのトラクターも使いながら作業し、保育園に届けました。  
同農園はJAのサポートで高橋さんと後藤さんの隣接する約900平方メートルの畑を有効活用するため、一面の収穫体験農園として昨年5月に開園。きっかけは、労働力不足の問題など共通の悩みを抱えていた両者がJAに相談したことからです。管轄の同支店や営農支援課、資産管理課などが協力して方策を検討し、隣り合う畑を合わせた同農園を開設しました。  
同支店は植え付けなどの事前準備や収穫体験の手伝いなど日々から積極的に協力しています。



サツマイモを収穫する職員

## 井荻支店

### 花の寄せ植え 体験しませんか

井荻支店は11月から始まった花の寄せ植え体験付き定期貯金のキャンペーンに先立って窓口担当職員がパンジーやヒオラ、葉ポタン、キンギョソウなどを使って寄せ植えを作りました。花の組み合わせやアレンジの仕方でもバリエーション豊富な寄せ植えができ、楽しさを実感し、「寄せ植えを見せながら楽しく体験してみませんか、きれいな花で玄関やベランダにいろいろのりを加えてみませんか」と勧めやすいと話しました。  
寄せ植えはキャンペーン用のサンプルとして店舗の入り口に飾りました。



花の寄せ植えをする職員

## 烏山支店

### カボチャで ハロウィン飾り

烏山支店は世田谷区産のカボチャを使い、手作りのハロウィンの飾りを作り、来店客に好評でした。同店は区内で取れる野菜を来店客に知ってもらうため、これまでも職員が育てた地産の農産物を使ったディスプレイに挑戦してきました。七夕やオリンピックにちなんだ手作りのカボチャのランタンなどを飾り、来店客から「毎年楽しみ」と期待されています。

カボチャは千歳地区の杉田雅重さんの協力で畑の一面を借りて職員が苗を植え、7月下旬に収穫したもの。30キロ以上の大きなものを選び若手職員が中心となってカボチャの顔を作りました。



大きなハロウィンのカボチャ

## 矢口支店

### ハロウィン キャンペーン開く

矢口支店は10月29日、30日の2日間、ハロウィンキャンペーンを開きました。貯金や共済の見積もり予約、年金受給契約をした来店客にハロウィンの菓子の詰め合わせをプレゼント。店内もハロウィンの飾りにぎやかにして盛り上げました。事前にキャンペーンを告知していたためプレゼント目当てに多くの来店客が訪れ盛況でした。

同店は地元産野菜を店内で即売していましたが4月からコロナの影響で中止しており、少しでもハロウィンキャンペーンで喜んでもらえればとの思いで開催しました。



にぎやかにハロウィンキャンペーン

## 田園調布支店

### スーパーの前で JA商品アピール

田園調布支店は11月17日、隣接するスーパーマーケット、オーケー田園調布店の前で子どもキャンペーンとして定期貯金や共済の商品のPRをしました。

家族連れの買物客が多く訪れる場所です。JAのことも共済や子ども定期貯金を紹介しようと同店の許可を得てパンフレットなどを配布しました。来店してくれた人には簡単なアンケートに答えてもらい、アンパンマンのカップセルトイや記念撮影スポットを設けて楽しんでもらいました。



スーパー入り口でPR

# 終活

Shu-katsu

人に、地域に、よりそう心

(株)JA東京中央  
セレモニーセンター

〈季節の花・雛梅〉

知ってほしい

葬儀参列辞退のマナー

コロナ禍における葬儀最新事情

## ご葬儀 Q&A

**Q** 三密を防ぐお葬式「儀式前焼香」とはどのような儀式ですか?

**A** JAセレモニーが、他社に先駆けて開始した「儀式前焼香」。新型コロナウイルス感染防止の観点から、通夜や告別式の読経の前に、故人様とお別れをしていただく方法です。

もし「儀式前焼香」のご案内をいただいた場合は、その時間内に訪問し、故人様との面会、焼香、ご遺族様と対面をしていただきます。焼香の際は、僧侶の読経はありませんが、ゆつくり対面、焼香していただけるため、参列者の皆さんはもとより、儀式をお身内だけで行うため、ご遺族の皆さんからも大変ご好評をいただいています。

まだまだコロナ禍は続きます。JAセレモニーは、ご葬儀本来の姿を次代へ継承してまいります。



新型コロナウイルス感染症拡大が続く中「親戚から、ご葬儀の知らせをいただきましたが、参列を辞退することができるのでしょうか」というご相談を受けることが多くなっています。お話を伺いますと、ご自身が高齢で持病があり「もし、コロナに罹ったら、ご自身の命に関わるため」という人が多いようです。今回は、コロナ禍における参列辞退のマナーをまとめてみました。

参列をしなくても  
お悔やみの心をお伝えしましょう。



### 参列辞退も選択肢の一つ

終息の見えないコロナ感染。その中で危篤や訃報に接する方も多くあります。「亡くなられた方に感謝の気持ちを表したい」「ご遺族を励ましてあげたい」と思う一方、ご自身の体調やコロナ感染が

### 弔電で弔意を表すことも

参列を辞退した場合、遺族や故人に弔電を送り、弔意をお伝えします。葬儀・告別式で読み上げられなくても、ご遺族には気持ちが届きます。弔電は、訃報を受けたら速やかに手配し、葬儀・告別式開式前までに、式場に届くようにします。

### 香典をお届けする方法

たとえ葬儀・告別式を辞退しても香典はお届けすることが一つのマナーとされています。参列される方に預ける方法と、後日郵送する方法があります。郵送する場合は、ご遺族が少し落ち着いたタイミングでお送りするなど配慮も必要です。

もし、香典を辞退をされた場合は、ご遺族に負担をかけない程度の金額の供物をお贈りすることにより、哀悼の気持ちを伝えることができます。

### 供花・供物の取り扱い

供花・供物をお贈りする場合は、関係により、ご遺族にその旨を伝え通夜に間に合うように手配します。葬儀後にお贈りするときは、お線香や賞味期限の長いお菓子などを選ぶようにします。

### ご自宅訪問のマナー

葬儀に参列できないとき、後日改めてご自宅へお参りに伺うことも一つの方法です。葬儀後の落ち着いたころから四十九日の間に「お線香をあげに、訪問させていただきたい」旨をお伝えし、ご遺族のご意向を確認してから訪問するようにしましょう。ご遺族も諸手続きなどで心身共に負担のかかる時期ですので、十分配慮してお参りされると良いでしょう。

### コロナ禍のお葬式

## 模擬家族葬 開催

JAセレモニー・仲池上店では、毎月2回、定期的に「模擬家族葬」を開催しています。

開催時間は1時間30分で、三密の状態を避けた椅子の座り方や、フェイスシールドによるお花入れなど、実際の家族葬を想定した講座と体験は参加者の皆さんから大変ご好評をいただいております。

詳しくは、セレモニーセンター各店舗までお問い合わせください。



### セレモニーの感染防止対策

お客様の健康と  
安全・安心を第一に!!

スタッフの手洗い  
アルコール消毒の  
徹底



スタッフ接客時の  
マスクの徹底



スタッフの検温徹底  
発熱時の  
出勤停止



館内に  
消毒液を設置



拭き取り  
消毒の実施



相続・遺言・自分整理・成年後見・家族葬

こんな時だからこそ、お気軽にご相談ください。

株式会社 JA東京中央セレモニーセンター

〒157-0061 東京都世田谷区北烏山3-5-6 <https://www.ja-tokyo.co.jp>  
TEL.03-5315-1717 FAX.03-5315-2010

ご葬儀のご用命は…

☎ 0120-090-504 24時間受付

電話帳(タウンページ)、電話番号案内(104)などで「農協葬祭」「ジェイエイ葬祭」と名乗る会社がありますが、JA東京中央セレモニーセンターとは一切関係のない専門業者です。104でお問い合わせの場合は、確実に「JA東京中央セレモニーセンター」と担当者にお伝えください。

セレモニーセンターは、安心と信頼の会社です。

### JAのペット葬

火葬・葬儀・納骨  
〈完全個別火葬〉



お別れルームが  
北烏山にオープン

ペットメモリアル事業部  
☎ 0120-50-1059



### お部屋の片付け

生前整理から遺品整理まで、  
その方にふさわしいお片付けを  
お手伝いします。



お見積もり無料

お客様サポートセンター  
TEL.03-5315-1717

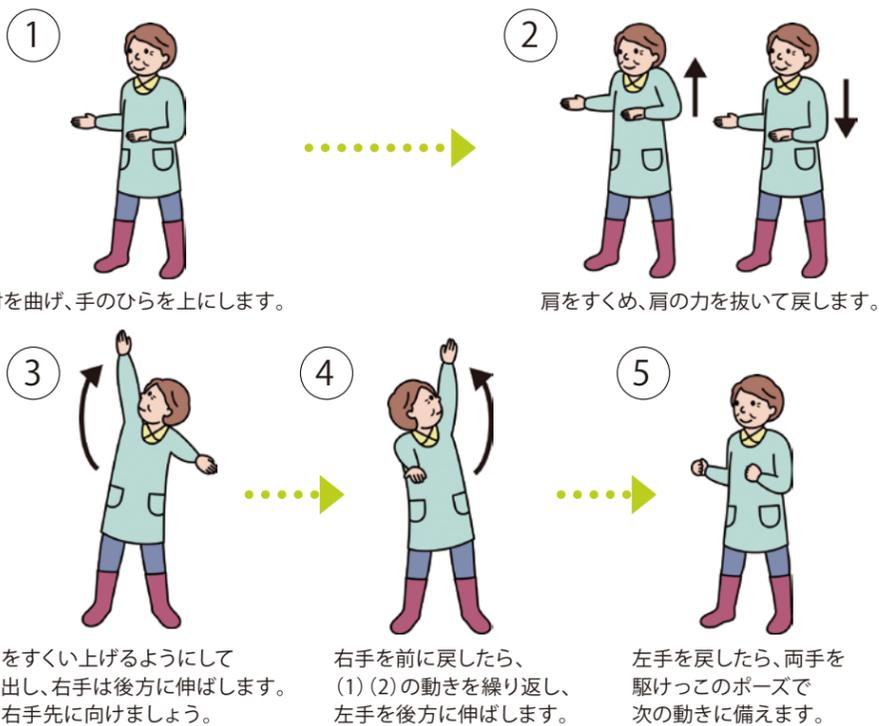


# 「The Taiso」

(4) 背腹部前曲げ、後ろ曲げ



(5) 胸部 腕を上げて伸展



※「イチ、ニ、イチ、ニ」とリズムカルに動きます。いすに座って行う場合も脚を開き、同じ運動をします。

「The Taiso」の動画はこちら ▶

ザ・タイソウ 検索

## いつでもどこでも手軽に体操

公益財団法人日本体操協会は国民の健康促進を目指し、誰でもどこでも簡単に、短時間で体のあらゆる部位を動かすことができる協会公認体操プログラム「The Taiso」を作成しました。いす(仕事中心)やベッド

(病床)、車いすに座りながらもできます。動きを覚えて、老若男女を問わず家庭や地域、JA、部会などで楽しく体を動かしてください。

日本体育大学 教授/荒木達雄

# JA東京グループ

# 農業男子×総選挙

## 東京の農業は、オレに任せろ!

### 応援ありがとうございました!



「農業男子×総選挙」は全国ネットのニュースを中心に5番組で延べ50分以上取り上げられた他、大手新聞や地元紙、ケーブルテレビなどでも紹介されました。広告効果を換算すると1億円以上になり、東京農業のPRにつながりました。投票は12月15日で締め切り、総投票数は13万票を超える多数の投票がありました。投票いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

注目の投票結果発表は下記サイトで!

農業男子 公式サイトURL

<https://www.agriboy-senkyo.jp/tokyo/>

JA東京中央代表 佐藤友雄さん(千歳地区)への多くの投票ありがとうございました!

